

ロスの旅

3月13日より春まじかの日本を離れ光あふれるロサンゼルスの旅へ。

と言っても観光旅行ではなく「若山博士と行くアメリカ健康博覧会訪問の旅」ちょっと長いタイトルですが、私が尊敬する食の権威、若山博士の食の原料がアメリカ国内で認められアメリカ有数の健康食品メーカー「ソフトジェル社」によって製品化されたヒアルロン酸健康食品「インジュヴ」の出品と、パネルによる学術発表（3000社を越す中から優良メーカー5社しか学術発表が出来ないとの事）の視察や訪問見学と内容の濃い旅行となりました。まだまだ日本では理解されにくい本物の健康食品も彼の地アメリカでは一般のユーザーの認識が高く本物のみしか生き残れない厳しい市場です。

そのアメリカでメイドインジャパンの原料がアメリカで高く評価されたと言うことの意味を、実感できる日本人がどれほどいるのでしょうか、今回の訪問で時の生き証人と為れた事の幸せを感じています（ちょっと大げさですか？）

3月13日（木）

いよいよアメリカ本土へ向けて出発です

今まで幾つかの国へ出向いたことは有りましたが、アメリカへはハワイを含めて初めてで今までに味わったことの無い不思議な緊張感を感じるのは何故なのでしょう

今回成田へは空港リムジンを利用したのですが何と川越駅前からノンストップで空港まで2時間で運んでくれたのには感激でした不思議な感じといえば都心から遥か彼方、千葉の奥地にある空港が「新東京国際空港」では、これから出来てくる韓国や中国の巨大ハブ空港にアジアの空を奪われてしまうのも時間の問題かもしれませんね

難しいことはさておいて、今回用意したのはユナイテッド航空午後5時50分発のゆっくりとしたスケジュールでリッチなフライトの予感、・・・成田では南は九州や名古屋、静岡から総勢24名の皆さんとご一緒ですが、すでに長旅の皆さんは少々お疲れのご様子、ご苦労様です、とは言え、全て食と健康の未来に夢膨らませる、頼もしいメンバーとの旅はとても楽しみです。

機上の人になってしまえば後は9時間余り寝る事と食べる事だけなので楽チンと思っていたのですが、搭乗手続きが始まるとその手続きの煩雑さと警戒の厳重なことに今まで安全があたりまえの環境に慣れ親しんできてしまった身としては、世界の緊張感をいきなり見せ付けられた様で平和が如何に難しく、また尊いか改めて実感させられた一瞬でした

厳重な警戒の中1時間の搭乗手続きを済ませいざ機内に・・・エコノミーなので余り期待はしていなかったのですが、それにしても狭い！ アメリカの航空会社なのにこのシートではあのお尻の大きなテキサスのおばちゃんには無理だろう、と思えるほどの狭さに唖然、此処でも利用者の健康よりも経済優先が肌身に伝わってきてしまい、切なさを感じてしまいます。

いざ離陸・・・やっとなり着陸（速すぎますか？）

少年の頃憧れていた

パパは何でも知っている国 アメリカ！

奥様はみんな魔女の国 アメリカ！

最後は自分達だけハッピーエンドの国
アメリカ！

それでも憧れていたエンターテイメント
の国アメリカに今こうして立っている事
が不思議です、あれだけ狭かった機内から
開放されたせいも有ってか、LAX（ロサン
ゼルス国際空港）から一路サンタモニカへ
向かうバスの車窓から見える風景は、道も
家並も木々も何もかもが大きく、その全てのボリュームに圧倒され、改めてアメリカの迫
力を感じてしまいます。



映画や雑誌でしか見たことの無かったサンタ・モニカ、日差しの眩しさや町の佇まいに素直
に感動している自分も良いものです。

町の建物には統一感はまったく無いと言って良いものの、日々の暮らしを楽しんでいる様
子が家々の表情に実に良く現れ、それが町全体の暖かく柔らかな雰囲気をかもし出してい
るんですね、日本の無機質な町並みとは大違いです。

入国審査で時間を取られたせいで後は車窓からの観光になってしまいましたが、ビバリー
ヒルズやハリウッドを眺めもうじき移送されるであろう三浦和義被告（？）で有名になっ
た事件現場を左に眺めながらフリーウェーを一路今夜の宿泊先になるロサンゼルスのだウ
ンタウンへ、

さすが500万都市、アメリカ第2の都会だけ有ってその車の多さと汚さはどこかの国で
見たような気がします。ただ貧困の酷さ格差はわが国の比ではなく、例えば大手町のオフ
イス街に路上生活者が行き交うような様子が此处ロサンゼルスのだウンタウンには有りま
す、宿泊先はそのダウンタウンのど真ん中、WILSHIRE GRAND HOTEL といって、新宿
の京王プラザホテルか赤坂東急クラスのホテルで、犯罪の国らしくセキュリティーはかな
り厳しく威圧感があります。今夜の夕食はこのホテル内の韓国料理店 SEOUL JUNG で博
士を囲んで美味しい焼肉パーティーです、疲れも有ってかアルコールの巡りが早く、もの
の30分もしないうちに全員が宴会のテンション、その中でも突出してハイテンションな
のは博士であることは言うまでも有りません、その余韻を駆ってメンバーの部屋で2次会
の開催、疲れているのに皆さんのスタミナにはつくづく感心させられた一日でした。



3月14日（金）

楽しみにしていた Soft-Jel 社への訪問です、頭髪カバー
に白衣、靴カバーまで着けて消毒を済ませいざ工場内へ、
意外と小さな生産ラインでは有りますが清潔で実に丁寧

に扱われていて、原料をソフトジェルに封入するまで5時間以上は置かないらしく順番を待つその原料のドラムにも酸化を防ぐ為窒素を充填してフィルムで密閉されているところを見せていただき実に細かなところまで行き届いているのに感心するばかりです。製造ラインから研究室まで本来ならかなり企業秘密的な場所もあると思うのですが写真撮影にも目をつぶって頂きかなり詳しく説明をしていただきました、工場長が日本人であるという事以上に博士とソフトジェル社との信頼関係が如何に厚いかという事でしょう、こういう所からも商品力のすごさが伝わってきます。



午前の企業訪問を終えランチは(いつの間にか昼食と言わなくなっている)観光客、ましてや日本人などはまったく来ないような郊外の住宅地の中にたたくメキシコ料理の店 TAMAYO に到着、南米の方が多く住む町で豊かとは到底いえない暮らし振りがその佇まいから窺われ、昼間にもかかわらず町を所在無さげに歩く人々の無力感が町の風景をいっそう退廃的な雰囲気になっています、このメキシコ料理レストランは元々教会だったらしく、



地元のライオンズクラブが買い上げレストランにしたそうで高い天井と凝った窓の雰囲気が高級レストランの風格を作り上げています、しかしここはラテン系、色彩はパステル調で明るくあくまで陽気な店員と乾燥した大地がいかにも“メキシコ”です。此処では現地ガイドのアントニオ正木さんが15年ぶりのメキシコ人の友人と再会、昔勤めていたレストランの同僚だったそうです、こんなに広いアメリ



リカでも・・・有るんですね。

料理はメキシコ独特のタコスにスパイスの効いた煮込み料理と甘いソースのチキン、サラダをこれでもか〜っ！と大きな皿に盛り付けてきます、油断は出来ません、でも味はなかなかで日当たりの良い大きな個室でゆったりとしたランチを頂くことが出来ました。

午後は急遽予定を変更して野茂英雄で一躍日本人の知るところとなったドジャースタジアムへ直行、幸いメジャーリーグ開幕前でスタジアムを見学することが出来ました、ゲートをくぐるとそこはいきなりバックネット裏最上階でホームベースまでの高低差がすさまじくスタンドの勾配も急で手すり無くしてはとても立ってられません、飛行機の座席といいスタジアムの席の作りといいアメリカ人は自分達の体形を過小評価しすぎです。

それにしても芝生の緑の美しさと外野席の奥に広がる山々の景色が目には染みます、強い日差しに乾いた



空気前向きでしか生きられない環境なのかもしれません。

15分の短い見学にもかかわらず写真撮影と売店で買い物を、それにもまして事もあろうに博士には私の携帯のトラブルを日本にまで問い合わせさせて頂き、お借りした博士の電話で交渉中も何と私の荷物持ちをさせてしまい、ただただ感謝あるのみです本当に有難うございました、「為せば成る」という事を実践して教えていただきました、おかげで安心のたびが続けられます（後に役立つことに・・・）。

慌しく見学を終えバスは一路ホテルへ、夕飯はタクシーに分乗して博士お気に入りの鮭屋へ向かったのですが目的地目の集合場所ホテルからわが健美堂の代表が迷子!!!

何ともご迷惑なトホホ事件、幸い静岡の落合さんがたまたま成田の番号のみ、登録してくれていたおかげで無事所在を確認することが出来ました、このときの為に用意して頂いたようで本当に有難うございました、この日は健美堂ごと皆様に助けをいただきました感謝です、有難うございました。

事件も一段落し、ようやく目的の鮭屋さんへ到着、ほぼ貸しきり状態でお作りから頂いたのですが、その食材の新鮮なこと、はっきりいって日本の寿司ネタより上質で寿司は日本のものという固定概念は簡単に雲散霧消です、サンフランシスコから取れたての本マグロや近海の魚介類がふんだんに手に入るそうです、羨ましい限りです。

ウニ・アワビ・ミル貝等等だんだん勘定が心配に成ってくるほどです、是だけでは済みません皆さん飲むわ飲むわ、ここロサンゼルスで八海山の四合瓶を何と三十数本、良くぞ飲んだり、またその鮭屋に良くぞ有ったり！ 何もかもが型破りです、博士ご馳走様でした、後の私の記憶も定かでは有りません。

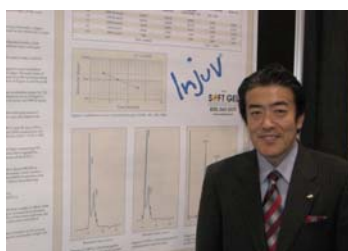
3月15日（土）

いよいよツアーのタイトルでもある健康博覧会訪問のためバスでアナハイムコンベンションセンターまで1時間のドライブです、片側6斜線のあきれるほどの広さに、もっとあきれるほどの車の数で埋め尽くされている様子は異様にさえ見えます。

途中にはかの有名なテーマパーク、1955年開業の元祖ディズニーランドを右に見ながら、

大渋滞の中ようやくアナハイムへ到着、すでに人の渦で自ずとテンションがあがってしま

います、以前薬局にいた頃、製薬メーカーの展示会には毎年出かけていたのですが、まったくその比では有りません、3,000店を越す出店があると聞き、アメリカ人の健康への意識の高さに驚かされる反面、消費者がいかにかケミカルな物から離れたがっているかを物語っているようです、アメリカの医師の6割が医薬品に頼らずにサプリメントを求めていると聞きます。ましてや



一般市民など超高額な医療費など払えません、自ずとサプリメントに頼るしかないのです、要するにサプリメントも本当に信じてもらっている訳ではなく、あくまでケミカルな物からの避難場所に過ぎません、改めて本物の食としてのサプリの大切さを、この会場を見たとたん実感したのは私だけではないでしょう。

出展企業の商品群や昼食後のドラッグストア見学でも感じたのは、消費者の知識もかなり高く、サプリメントがすばらしく細分化されていることです、すなわち消費者が自分の体の状態を大体理解でき、それに必要なサプリメントを膨大な商品群の中からチョイス出来るという事です、ああそれなのに・・・あの巨大なフライドポテトは頂けません、やはり



大切なのは食ですよ。

強行スケジュールをこなし、雨にも負けず夕食会場のある高級ブティック街、ロデオドライブへ到着です。建物の美しさと町並みの優雅さには驚かされます、是もテーマパークではないかしらと思いたくなるほどです、もっともブレンド思考の私には店内には用は無く、ひたすら街づくりの素晴らしさ

に見とれている夕暮れです。

夕食はそのブティック街の高台にあるレストラン、マコーミックにて地中海料理を頂くことに、みなそれぞれ円卓を囲み準備万端です、今日はかなり歩いたので皆さん珍しく空腹を感じている様子で手を伸ばしたのが中央に置かれた大きな丸いパン、おそらくブルという、大きな鏡餅のようなパンなのですがクォーターカットには為っているのですが後は手抜きした様なナイフの入れ方できるのに一苦勞、結局最後は手でちぎることに・・・

味はなかなか美味しく酸味のあるサワーブレッドです。最初の料理はボリューム満点のクラムチャウダー、しっかりとしたアサリの味と濃厚なクリームが、とかくあっさりとしたスープに為りがちですが、存在感のある立派な料理となって胃袋に沈んで行きます、美味しい。二品目はタイ米をリゾット風にしたライスの上にカリット香ばしく焼き上がったサーモンです、是もなかなか、赤ワインを頂きながらのまたしても優雅なディナーと為りました、今日も一日お疲れ様。

3月16日（日）

ロサンゼルス最後の一日はお楽しみの半日フリータイム、とはいえ時間に制約があるため余り多くは望めず如何に有効に使うかで各自相当思案をしているようです。わが桐生グループ？は、ユニバーサルスタジオへの強行を決定、本来なら今日はオフのはずの文珍さん(いつの間にか直木さんが文珍に、確かに桂文珍にソックリ!)に無理を言ってガイドを頼むことが出来とりあえず最大の不安を解消することが出



来ました、なんといっても移動手段がロスの地下鉄なのでお嬢様方のエスコートにかなりの不安が有りましたから。それにしても女性は強い、何の不安も感じない様子で物怖じもせず少女の様に楽しんでいる様で羨ましい限りです。

ホテル脇のウィルシャー駅からユニバーサル駅まで約30分、たとえ昼間でも一人では乗りたくないエリアです。日曜ということも有って混雑に見舞われること無く無事到着。

さすが映画発祥の地、期待を抱かせるような演出がすでに地下鉄出口から始まっています、丘の上のスタジオまでは、遊園地の乗り物のような3両連結の送迎バスで入場口へ向かいます、そこはもうすでに映画の国夢の国！丘の上のロケーションも手伝ってか、お嬢様のレベルはすでにレッドゾーン、いろいろなアクシデントを乗り越え、昼食も15分で見事に済ませ、何と日曜なのに4つのアトラクションをこなしてしまいました。

良く歩き、良く笑い、良く踊り、全員満喫の5時間を過ごし、燃え尽きて地下鉄でホテルまで。

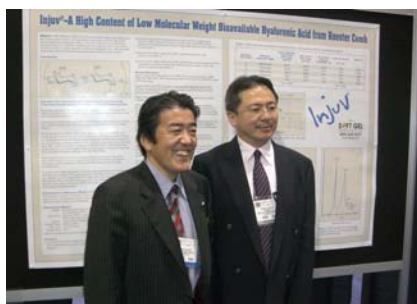
5時30分からのミーティングでは、参加者全員が欠ける事無く無事出席し、この4日間の研修の成果を各自発表しましたが、初日の落ち着いた自己紹介と打って変わって皆さんが熱く語り、改めて若山博士の研究の偉大さに触れることが出来、自信を持って日本に帰ることが出来るでしょう。

また、普段会うことの出来ない各地のメンバーさんとも交流を深めることが出来、実に内容の深い研修旅行となりました。

次回の研修旅行にはもっと多くのメンバーさんがこの感動を手にして頂きたいとつくづく思うとともに、このメンバーの交流が今後も長く続くことを祈らずに入られません。

残念ながら参加出来なかったメンバーさんの支えや、企画して下さいたスタッフの皆さんのご苦勞があればこそこの今回の研修旅行です、心からお礼申し上げます。

明日はいよいよ帰国です。



今回のロサンゼルス研修に参加され、この手記を投稿いただいた T.U 氏。

(若山博士との2ショット写真)

この手記は、飛行機の中などで、その日その日を記されたそうです。有難うございました。。。

・・・お疲れ様でした。